

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
・仲間とともに学びに向かえる子(確かな学び) ・自分のよさを知り、人とつながり協働する子(豊かな心) ・ゆめの実現に向かって粘り強く取り組み、活力ある生活を送れる子(健やかな体)

堺市立美原中学校
校長 新田 義政

令和7年度 重点目標
1. 「総合的な学力」の育成 (1)「学びの共同体」を基にした本校独自の学び合いの創造 (2)家庭学習習慣の形成 (3)読解力の向上 2. 豊かな心の育成 (1)人権教育の推進 (2)道徳教育の推進 3. 信頼関係を基盤にした生徒指導 (1)自ら考えて正しい行動ができる生徒の育成 (2)生徒理解の徹底と信頼関係の構築 (3)不登校の効果的な支援 4. 特別支援教育の推進 (1)障害の状況に応じた指導の充実 (2)特別支援委員会の機能の充実 (3)個に応じた特別支援教育の充実 (4)通級指導教室との連携 (5)自立につながるICTの活用 5. 小中一貫連携の取組 (1)授業研修 (2)家庭生活習慣の改善 6. 信頼される教員の育成

確かな学びの現状(全国学力・学習状況調査、チャレンジテストの分析より)
【国語】「読むこと」の得点率は府平均より3ポイント高く、読解の能力は高まっている。ただし、「書くこと」の得点率が依然低い。書く力をつける必要がある。無回答率0%である設問が7問あり、府平均を上回っている。問題に取り組む意欲が高いので、問題文をよく読む習慣をつけていく。
【英語】読むことに関しては府平均から大きな差がなかったが、聞くこと、書くことはともに低い結果が出た。特に書くことは他の問題と比べても無回答率が著しく高く、問題の間われていることを理解することもできていないと考えられる。取り組んできた「読解力」はついでに学年もみられる。

豊かな心・健やかな体の現状(全国学力・学習状況調査、チャレンジテストのアンケート結果より)
・朝食を毎日食べている生徒の割合が低かった。また、睡眠に関するアンケート項目についても全国平均を下回り、生活習慣に関する項目では、規則正しい生活リズムの構築に課題がある結果が出ている。自分に合った睡眠時間の確保は、生活の基本となることを指導していきたい。
・スマートフォンを使用する時間が長く、宿題以外の家庭学習に取り組む時間が短いことを改善していく必要があり、家庭と連携できるように取り組みたい。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末), 自己評価, 学校関係者評価. Rows include: 確かな学び, 豊かな心・健やかな体, 信頼関係を基盤にした生徒指導.

校長より(年度末)
【確かな学び】
・大阪府のチャレンジテストにおいて、府平均付近の教科が多く、また、上回る教科も増えてきた。このことから、学力については上向き傾向にあると考える。基礎的な学力の定着は進みつつあるが、概して、発展的な問題に課題は見られる。その原因として、読み込んで理解する力の弱さがあげられる。読書に親しみこを促すなど、文字を読んで理解する力の向上を図っていきたい。
【豊かな心・健やかな体】
「本物との出会い」といった点で、「車いすバスケット」など実際に活動しておられる講師の先生を招聘するなどし、生徒たちの心に迫る体験をすることはできた。今後も生徒たちの状況に応じて、講師招聘や教職員自身の経験・体験の語り、美しい自然との出会いなど様々な形で「本物」との出会いをコーディネートし、生徒たちの心に迫る教育を実践していきたい。
【信頼関係を基盤にした生徒指導】
・体育大会の応援合戦において、生徒たちは「自ら考えて正しい行動ができる」ように大きく成長できた。その取組みが認められ、「堺STEAMブック」に掲載され、全市に発信されることになった。
・特別支援教育では、各学年ごとに支援が必要な生徒について会議の場を持つことができ、きめ細やかな対応をすることができた。
・小中一貫としては、美原区全体での学校群で、学力・生徒指導など各分野において協力して取り組むことができた。

学校関係者評価者から(年度末)
いろいろなイベントに子ども達が熱心に取り組む姿はとても素晴らしいものだと感じました。(子どもたちにとって宝石のような時間だと思います)
すべての子が均一にうまくいくことはありえないと思いますが、先生方はとても努力されていると思います。
不登校の子たちもそれぞれ違った理由があるのですが、今後揺れ動きながらでも前向きになる指導をお願いしたいと思います。
・どの具体目標を達成するにも、学校だけでなく、家庭・保護者の協力が不可欠で、その重要性は言うまでもないですが、先生方の話を聞いたことで、実際にそれを得ることの難しさを改めて感じました。
・概ね主任層を中心に学校としてまとまって教育活動に取り組んでいる。その成果は、着実に子ども・地域に届いているように思われる。
・美原中がチームとして考え、方針を出し、教員と生徒と一緒に成長していくとして、学校として頑張っておられると思います。地域住民の一人として、できることはお手伝いさせていただきます。「学びの協働体」時間と手間がかかりますが、生徒のため、校長先生、教頭先生始め、教職員のみならず頑張ってください。